

## 令和2年度第2回宇部市高齢者福祉計画審議会会議録

日時：令和2年12月2日（水）19時00分～20時30分

場所：宇部市保健センター

出席者：【委員】17名出席

【事務局】13名出席

【傍聴者】なし

### 1 健康福祉部長あいさつ

### 2 第8期宇部市高齢者福祉計画の策定について

（事務局） 計画の素案について、資料1、2を用い説明。

- ・宇部市の高齢者を取り巻く状況と課題
- ・基本理念
- ・基本目標
- ・重要施策

（委員） 計画について、重きを置くのは多職種協働。地域の課題は特定の専門職だけが占有するものではない。様々な職種の方々がいろいろな情報交換することが、一人一人の幸せにつながる。

（委員） 多職種連携は非常に重要。独居も多く、新型コロナの影響で遠方の家族がなかなか戻ってこられない状況。多職種で見ていかないと高齢者支援は大変。

（委員） 老人クラブは高齢者をひきこもりにさせないことが第一目標。クラブの方だけでなく、全体を見守ることを目的に活動している。

（委員） 第8期計画は地域包括ケアの中で、健康寿命、介護予防、認知症予防等を重点的やるのだと思う。介護や福祉の事業はマンパワーによることが多い。高齢者人口が増え、要介護認定者も増え、マンパワーが不足しているのではないか。今回の事業計画の中で重点的に実施する施策のため、人材の確保が必要。

（委員） 介護人材について、就職説明会を行っているが、介護職を目指す子どもが減っている。人材の定着支援が必要。

(事務局) 人材確保支援について、本市は助成制度があるが、助成対象者はまだまだ少ない。介護職のイメージアップなど取り組む予定。

(事務局) 地域密着型サービスの整備方針について、資料3を用い説明。

- ・サービスの利用状況
- ・法人への意向調査
- ・ケアマネジャーアンケート調査
- ・待機者の推移
- ・施設施設整備の方針

小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の利用や多職種連携の取組により、待機者の負担軽減を図ることができるため、第8期の整備は保留し、第9期に改めて検討。

(委員) 在宅で介護をしている人が多くなっている。小規模多機能型居宅介護は良いサービスと聞いている。

(委員) 有料老人ホームが増えており、入居しながらデイサービスや訪問介護を利用している方が増えている。年金が少ないなどの金銭的な問題はあある。

(会長) その他、総合的な意見はあるか。

(委員) はつらつ健幸ポイントについて、歩数を稼ぐための健康づくりになっていないか。講演会や研修などはどうなのか。

(事務局) 歩数を稼ぐためではなく、地域活動やウォーキングのイベントなどでもポイントが付く。紙ベースで取り組んでいたものと同様に健康づくりを目的としている。

(委員) 老人クラブでは体育大会でこのポイントに参加してきた。ご近所同士の加入の有無に関わらず、散歩の日を決めて自治会の中で活動するようになった。認知症の方も散歩を続けることで少し改善されると実感した。

- (委員) 就労やボランティア活動について、生きがい就労を意味しているかと思うが、家計の問題から、高齢になっても働かざるを得ない人たちがいる。健康福祉部所管の話になっているが、限界がある気がしている。
- (事務局) 就労支援は大事な課題。健康福祉部だけでなく、雇用の商工水産部や、市では就労支援をまとめて相談にのる JOBSTA (ジョブスタ) というものもあるので、一体的にやっっていこうと考えている。
- (委員) 医療系、介護系の皆様の疲弊は非常に大変であり、医療系、介護系の働き方改革、負担軽減に少しでも ICT が利用できるように、ほかのセクションとの横串しもよく考えてほしい。コンピューターは人のために使う道具であって、ICT は困っている人達に手を貸す道具で、精神論では限界がある。今の素案は、ファンクションをどうするかというと精神論だ、というのが私の印象。宇部市トータルでの協力が必要。
- (委員) 計画推進体制における、保健・医療・福祉サービス調整推進会議及びブロック会議について、介護保険以前の高齢者サービス調整チームから始まった制度だと思う。25年くらいの間、この体制に変更がない。地域包括ケアでは支え合い会議が作られている。関係が不明確なので、全体的な計画を推進する中で整理が必要。
- (委員) 新型コロナで、順調だったサロンに問題がたくさん出てきた。一人でいる時間を少なくすることができなくなったり、講師の先生に来てもらえなくなったりしている。そのような中で、市よりタブレットを借りて YouTube の体操をしたり、社協でオンラインの勉強会をするなど工夫をし、問題点が出てきても、支援サポートしてもらい、助かっている。
- (会長) この素案の根本的なところは、承認ということでよいか。
- (委員) 承認。
- (事務局) 皆さんから頂いた意見をまとめ、パブリックコメントを実施する。